

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	資源物回収事業	コード	81110
-------	---------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 環境課	作成者 黒淵 浩人
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	循環型社会の構築	施 策	廃棄物対策の推進
		予算科目	資源物回収事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的的事业）	国県補助	なし
		根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第37号）、各種リサイクル法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	ごみ減量と3Rの推進を図るため、講習会や学習会を開催、啓発イベントの実施、広報・チラシなどによる意識啓発活動を行う。		
目的	対象者	ごみを排出する市民	
	意 図	ごみ減量と3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	

5 事業の実施内容		*26年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・定位置回収及び、毎月最終日曜日に「サンデーリサイクルデー」を西友南、北店で開催し、資源物の回収及び再資源化を図った。 ・小型家電リサイクル試験回収を、7月から毎月最終日曜日に西友北店で実施し、再資源化を図った。 <p>○資源物の分別回収の内訳（kg）…新聞紙、雑誌、段ボール、厚紙、牛乳パック、古布、アルミ缶、スチール缶、金属、生きびん 計 1,791,220kg … ①</p> <p>○資源物の再資源化（kg）…乾電池、ガラスびん、廃蛍光管、ペットボトル、発泡トレイ、その他プラスチック、生ごみ、剪定樹木 計 1,130,655kg … ②</p> <p>合計①+② 2,921,875kg</p>			
前年度の課題への対応	学習会や説明会、啓発イベントを行い意識啓発を図った。 湖周2市1町における今後の分別の統一など「湖周ワーキング部会」で話し合いを行った。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	資源物の回収量及び資源化量			単位	K g
実績値	4,383,287	3,778,127	2,921,875		
*指標の説明	*資源物を回収した量及び資源化した量				
② 成果指標（指標名）	資源化率（リサイクル率）			単位	%
目標値	33	34	35	37	
実績値	28	26	21		
達成度	84.8%	76.5%	60.0%		
*指標の説明	*資源化率（資源物回収量÷総ごみ量）				
*目標値の設定方法の説明	*湖周地区のごみ処理基本計画の資源化率（目標37%）平成27年度目標				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

補助金負担金名	24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
① 直接事業費	65,673,650	61,727,303	59,799,427	65,289,000
経常経費	65,673,650	61,727,303	59,799,427	65,289,000
臨時的経費	0	0	0	
* 臨時的経費の説明				
補助金負担金名	24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
② 人件費	9,600,000	7,200,000	7,200,000	7,200,000
正規職員の人数(人)	1.20	0.90	0.90	0.90
③ 合計コスト(①+②)	75,273,650	68,927,303	66,999,427	72,489,000
前年度比		91.6%	97.2%	108.2%
財源				
一般財源	70,423,650	68,777,303	62,110,685	65,239,000
内訳				
特定財源	4,850,000	150,000	4,888,742	7,250,000
* 特定財源の説明	リサイクル基金繰入金、指定袋紙帯広告料			
④ 活動一単位あたりコスト	17	18	23	
前年度比		106.2%	125.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
資源物分別回収促進事業補助金	件数	2	2	2
	金額	9,341,880	7,816,530	5,373,660
生ごみ処理器等補助金	件数	23	23	21
	金額	150,600	51,900	44,600
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	9,492,480	7,868,430	5,418,260
	割合	14.45%	12.75%	9.06%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比	80.8%
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度	60.0%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>可燃ごみ、不燃ごみはほぼ横ばいの状況の中、資源物の量は減少しており、資源化率は低下している。</p> <p>資源物が減少している理由については、簡易包装や、景気の低迷による新聞、雑誌等の購入数の減及び、民間事業者が市内に設置しているリサイクルボックスの影響が大きいと考えられるが、今後もごみの発生抑制、分別に対する意識啓発を図っていく必要がある。</p>	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて27年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>ごみ減量へ「まったなし」を共通のキーワードとして、ごみの発生抑制、分別の意識啓発を図る。また、平成26年度より新たに「小型家電リサイクル試験回収事業」を実施しているが、法制度に沿ったリサイクルが継続的に実施できるか検証し、リサイクルの推進を図る。</p>
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による27年度の優先度 *H25年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---